

未来につながる道だって。

お兄ちゃん、  
 これはどこに行く道なの？

**この道の先にあるのは…**

市内では現在、両前寺から仁賀保 IC、金浦 IC さらに象潟 IC へと日沿道の工事が順調に進んでいます。このほど、日沿道の全線開通（新潟～青森）にめどが立ちました。秋田・山形県境の象潟一遊佐間が開通するのはまだ先のことですが、喜びの声があふれました。＝関連記事 2～4 ページ＝

写真は日沿道（黒川付近・未供用区間）  
 ※許可を得て撮影。IC 名称は仮称

**主な内容**

- 日沿道全線開通にめど…………… P 2～4
- 税務課からのお知らせほか… P 5
- 市民文化祭のお知らせ…………… P 6
- まちの話題…………… P 8～9

vol.144

2011

**9.15**

<http://www.city.nikaho.akita.jp>

**がんばろう東北**

白瀬南極探検隊 100 周年記念特集

その拾六



花守信吉が同 10 頭を連れて隊に加わります。山辺は日露戦争時、北海道開拓使初代長官・黒田清隆に随行して道案内をした勲功者で、言語学者の金田一京助とも交流があり、山辺の著、アイヌ語の「あいぬ物語」は金田一が和訳して出版しています。また、山辺は象潟の豪商（角丁）・佐々木平次郎が経営する樺太漁場で働いており、「あいぬ物語」や佐々木の著書「佐々木平次郎」に 2 人の交友が記されています。



さまざまな種類があった樺太犬

南極大陸での輸送手段は当初、満洲馬と樺太犬の櫓を使う計画で、隊員の担当にも馬匹係や馬糧・馬具係がありました。しかし、600 トンクラスの探検船の 00 トンクラスの開南丸は 204 トンの開南丸になったため、馬草や水など多くの物資を積むことができなくなり、馬は不要に、担当隊員も罷免されます。馬に変わり、樺太アイヌの山辺安之助が樺太犬 20 頭、

「蝦夷草紙」にあり、14 cm の長毛種、5 cm の短毛のほか、その中間の毛の長さの種類もありました。白瀬隊の樺太犬 30 頭は出発前に 1 頭が逃亡、第一次航海中には原因不明の病で次々に死亡します。「南極探検日記」には、

丹野一等航海士（左）土屋二等運転士と樺太犬



白瀬日本南極探検隊  
 100 周年記念事業推進事務局  
 ☎ 38-4670  
 白瀬南極探検隊記念館  
 ☎ 38-3765

す。佐々木は金浦町初代町長・北能喜市郎の実弟で、末弟の佐藤平吉とともに樺太でニシン漁などの漁場を経営。北能は白瀬の幼友たちという、偶然とは言い難いつながりがありました。樺太で昔から飼われていた樺太犬は、別名ロスキイヌとも言われ、現代では一つの犬種として認められています。シベリアからカムチャッカにわたるアジア大陸の北方およびアラスカからグリーンランド方面の原住民が飼っていたシベリアンハスキー犬やサモエド犬等と近縁関係にあり、通称「極地犬」と言われています。樺太への日本人移住が増加するにつれ、他の犬種も移入され、樺太犬との雑種なども生まれます。北海道にはそれと全く異なる犬が飼われ、公式には北海道犬、俗にアイヌ犬と呼ばれていました。樺太犬には北海道犬の 2 倍を超える犬もいました。樺太犬の最も古い記録は、天明 5 年（1785）出羽国村山郡楯岡村（山形県村山市）出身の最上徳内が著した

白瀬が犬に諺を付けて水葬したとあります。最後に残った犬の名前が太郎と次郎。しかし、次郎も第一次航海中に死亡します。多田が日本に戻った際、樺太犬を補充し、生き残った太郎（マルとも呼ばれる）と合わせ 30 頭で再度第二次航海、南極に向かいます。「南極物語」に登場する「タロ」と「ジロ」は偶然にも白瀬隊の 2 匹と同名です。

県民ミュージカル  
**白瀬中尉物語** 南十字星のもとへ

平成 24 年 1 月 22 日(日)  
 大仙市大曲市民会館

チケット  
 発売中!

平成 24 年 2 月 5 日(日)  
 秋田市文化会館

- ・チケット販売窓口  
 (白瀬記念館、わらび劇場、トピコ、)  
 チケットぴあ ほか
- ・前売チケット料金  
 (一般 1,000 円、小学生 500 円、)  
 中高生 700 円
- ・100 周年記念プロジェクト実行委員会  
 ☎ 38-4670
- ・わらび劇場 ☎ 0187-44-3915

企画・編集 / にかほ市広報委員会 発行 / にかほ市役所  
 〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田 1 番地

☎ 0184-43-3200 (代表) ☎ 0184-43-7510 (直通)  
 電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp  
 ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp>

広報にかほ は、にかほ市ホームページでもご覧いただけます



未知に挑む  
 南十字星のもとへ

樺太犬を輸送の手段へ